

# 鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和6年度 学校報 No.29

文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校

令和6年 11月 8日



## そば打ちに力をこめて ～3・4年生そば打ち体験～

11月6日(水)、3年生と4年生が直根学習センターでそば打ち体験を行いました。鳥海小学校の3・4年生は、毎年、板\*\*\*\*先生(元直根小学校校長)にそばの打ち方を教えてもらっています。8班に分かれて、そこに地域のそば打ち先生が加わりました。第一段階は水加減、タイミング、役割分担に班ごとのカラーを出しながらそば粉が固まりになるところまで。第二段階が打ち粉を加えながら固まりを延べ棒で薄くのばすところまで。第三段階がそば切り包丁でそばに切るところです。「細く切って」と願っていても一人一人の細かいイメージが違うのでおもしろいです。第四段階はそばをゆでてもらっている間の片付け作業。今年は特に4年生が自主的に働く姿が見られ、実食する時間が早まりました。

みんな、自分たちで打ったそばを食べておなかいっぱいになりました。



## 校舎が明るくなりました

### PTA奉仕作業

11月2日(土)早朝に行われたPTA窓拭き奉仕作業に多数のみなさまが参加してくださいました。普段の清掃では手の届かない窓の高い部分、教室の欄間、2階吹き抜けの窓、そして体育館のギャラリー窓まであっという間に仕上げてもらいました。

窓拭きワイパーを用いるととても効率的だなあ・・・と、ぬれ雑巾で拭いて乾いた雑巾で拭いてもムラになって難儀したこと、濡れ新聞紙で拭くときれいになりやすいと教えてもらったことなど以前の窓拭き作業を思い出しました。皆様のおかげで校舎が一層明るくなりました。ありがとうございます。

**おめでとうございます**

第3回「由利本荘市学ぶんタイピング競技会」

◇小学5年生の部 第9位 スコア41042点 佐\*\*\*

◇小学6年生の部 第6位 スコア47471点 小\*\*\*

第62回本荘由利少年武道錬成大会 令和6年11月4日

◇努力賞 4年 佐\*\*\*

**第70回読書感想文コンクール本荘由利支部 入賞作品の紹介**

実は、鳥海小学校の図書館の本の貸出冊数は年々減少傾向にあります。

今月は図書委員会が全校に「図書館ビンゴ」という企画で読書の誘いを進めています。

\*\*さんの読書感想文を読むと、読書を通じて自分のことを見つめ直していることが感じられます。本を読んで家族に問い掛け、その答えを受け止めてさらに心が豊かになっていく様子も素敵です。ぜひ、読書の楽しさを多くの子どもたちにも味わってほしいです。

**県推薦**

「ころって 一つじゃないの」

1年 村\*\*\*

わたしは、だいすきなひとがたくさんいます。おとうとやかっているねこ、ともだちです。いっしょにいと、わくわくしたり、どきどきしたり、たまにけんかもするからもよもやします。

わたしは、なつやすみにこのほんをよみました。だいをみて、おもしろうそだとおもったからです。でも、よんだあと、ころがどこにあるのかわからなくなりました。ころって、一つだけじゃないのかなとふしぎなきもちになりました。

ほんのなかで「あくしゅをしたらあつたかくなるしなかよくなれるもの。」とありました。どうぶつたちがあくしゅをしていて、とてもおきにいりです。えのように、おとうとのてをにぎってみました。おとうとは一さいだから、まだおはなしはできません。だけど、おとうとのてはあたたかくてやわらかかったです。おとうともにっこり、わたしもにっこりしました。かわいいなあっていうきもちがつたわつたらしいな。

かっているねこのしっぽをみました。だいすきだけどいっばいさわるとおこります。そしてぶさぶさになります。あまえるとぴんとたちます。「ころはしっぽにあるにきまつてる。」わたしちみたくにわらったり、おこったり、かおにはできません。もしかしたら、しっぽにころがあるとだんだんおもうようになりました。

おとうとのてをにぎったり、かっているねこのしっぽをみたりすると、ころって一つだけじゃないことがわかりました。おとうさんは

「ころはどこにもあるとおもうよ。」

といていました。いろいろなばしょにあるなんておもしろいです。

わたしはいまあさがおをそだてています。ほんには、おんなのこやどうぶつがでてくるけれど、しょくぶつにもころがあるかさがしてみたいです。

こんのひとみ作「心ってどこにあるのでしょうか？」金の星社

**全校集会のお話**

**「ことばで自分は人とつながる」**

11月5日の全校集会では、「ことば」をテーマに、相手のことや相手の気持ちを分かる自分になるために「本を読んで知っていることばやせかいを広めよう」「ネットは特性や危険を考えて使おう」「ことばをふやそう」と呼びかけました。

ネットやスマホでは、ビデオ通話、ゲーム、動画、写真の共有、勉強、チャット、本・マンガ、調べもの、音楽、友だちをつくるなどいろいろなことができます。子どもたちにしたいこと、していることで拳手を促すと、拳手のない項目はありませんでした。生活の中で便利に使われていることがうかがえました。

「夜遅くまで、友だちとオンラインゲームで遊んだりメッセージのやりとりをしたりするとどうなるのだろう。」と問い掛け、子どもたちは考えられる危険や困ることを近くの人と情報交換をしました。すると「目を悪くしたり体調が悪くなる」「他のことやる気がなくなってしまう」「生活のリズムが崩れて早寝早起きができなくなる」「人を傷付けるようなことをしてしまう」「家族とやりとりする時間がなくなる」「メッセージでけんかになってしまうかもしれない」「家族との時間が減って相談できなくなる」などと発言が続きました。

考えてくれたことが、それぞれの生活の改善に結び付いていくことを期待しています。